

FirstGlobal メッセージ

siesta

2016.8月号 vol.159

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

計画された偶然性

このところ「キャリア」というものを少し勉強してしまし、その中にタイトルの言葉が出てきました。これはアメリカの大学教授のジョン・クランボルツが1999年に提唱した理論です。

抜粋すると「偶然は予測されずに起こるが、いったん起こると予定されていたことと同じように、通常の連鎖に組み込まれて、人間の選択行動に影響を与える。」「機会に遭遇することが選択行動において重要である。」など。

少し解説させていただくと「キャリアの80%は偶然の出来事によって形成されている。」というものです。「目標設定」が大事とよくいわれます。ただ目標設定ができていなくても、もっと言うと目標設定ができなくても、行動さえ起こせば、誰かに出会う、何かにぶつかる、その遭遇した出来事がキャリア形成に貢献する。だから「計画を立てることに意味がない」と言っているわけではありません。目標を持ち、それを達成するための計画を立て、積極的な行動をしている人にこそチャンスが訪れる、とクランボルツは説いています。なぜかスッと腹に落ちました。巷間よく言われていることなんですが、あらためて、発表されている理論なんだと知ると結構新鮮です。ちなみに「訪れるチャンス」は「人」によってもたらされるものです。企業で働く人にとっても、上司や同僚は「人」ですし、個人事業主も「人から人への口コミ」が仕事のチャンスをもたらしてくれます。「人」「出会い」は大事にしないとイケませんね。そもそも理論というものは再現性を求められますから、なんだか何でもできそうな気がしてきます。ちなみにこういう「できそう」な感覚を「自己効力感」といいます。

アルバート・バンデューラという人が提唱した、これも理論です。自己効力感が高い状態、また高い人ほど成功に到達しやすい、らしいです。結論は「根拠のない自信」を持って行動する、ことでしょうか？ご不明点は上記まで。

< next >

イギリスが国民投票で、EUを離脱することに決まりました。早速円高、株安になっていましたね。特に高齢者が離脱票を投じていたと聞くと「大阪都構想」の時の住民投票を思い出します。せっかく消費増税、延期にしてくれたのに、景気はどうなっちゃうんでしょう？